

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

2008年度 第1四半期決算

2008年 7月29日

株式会社 **東芝**

代表執行役専務 村岡 富美雄

注意事項

- この資料には、東芝の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- また、多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て3ヵ月累計（第1四半期、1Q）です。

概要

摘 要	08年度	07年度	差
			対07年度
売 上 高	16,187	16,646	-459
営 業 損 益	-242	212	-454
%	-1.5%	1.3%	-2.8%
税 引 前 損 益	-164	340	-504
%	-1.0%	2.0%	-3.0%
当 期 純 損 益	-116	206	-322
%	-0.7%	1.2%	-1.9%
基 本 的 1 株 当 た り 当 期 純 損 益	△3円59銭	6円42銭	△10円01銭

単位：億円

今回の決算のポイント

- 前年同期比で減収・減益、赤字計上

売上高	16,187億円	(-459億円、97%)
営業損益	-242億円	(-454億円)
税引前損益	-164億円	(-504億円)
当期純損益	-116億円	(-322億円)

- * 半導体事業の悪化

売上高	2,915億円	(-116億円)
営業損益	-302億円	(-537億円)

- ✓ 大幅な価格下落によるメモリ事業の業績悪化およびデジタル機器の
販売低迷によるシステムLSI事業の業績悪化

- * 円高による減収

売上高への影響額	-1,000億円	(¥120/\$ → ¥104/\$)
----------	----------	---------------------

- * 社会インフラ、PC事業の営業損益は好調持続

PC	90億円	(-6億円)
社会インフラ	43億円	(+34億円)

(対07年度)

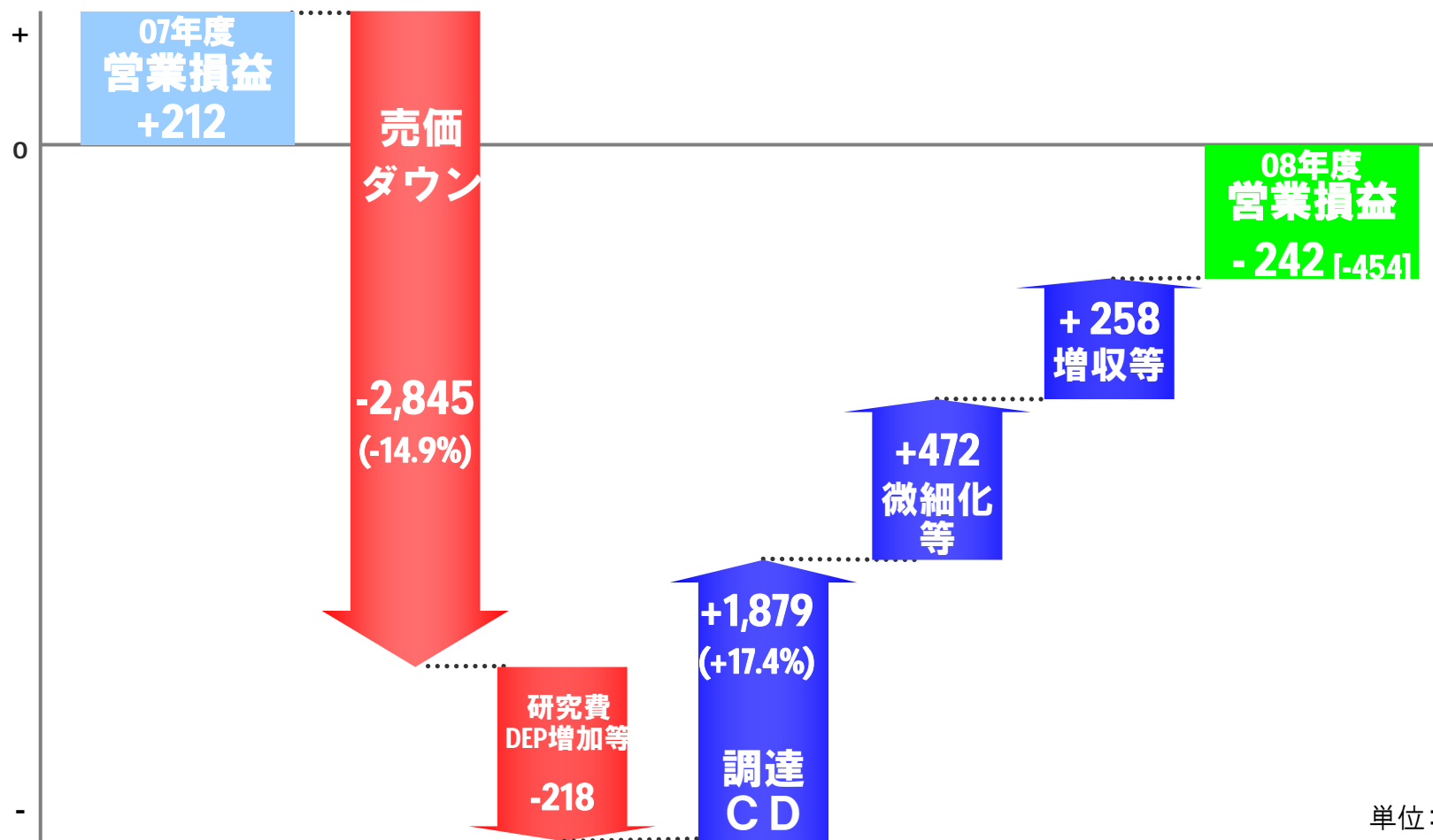
セグメント情報

単位: 億円

売上高	08年度	07年度	差
			対07年度
デジタルプロダクツ	6,443	6,639	-196
電子デバイス	3,657	3,756	-99
社会インフラ	4,887	4,687	200
家庭電器	1,721	1,867	-146
その他	840	1,010	-170
連結計	16,187	16,646	-459

営業損益	08年度	07年度	差
			対07年度
デジタルプロダクツ	132	-23	155
%	2.1%	-0.4%	2.5%
電子デバイス	-342	167	-509
%	-9.4%	4.5%	-13.9%
社会インフラ	43	9	34
%	0.9%	0.2%	0.7%
家庭電器	-69	-26	-43
%	-4.0%	-1.4%	-2.6%
その他	-11	87	-98
%	-1.3%	8.6%	-9.9%
連結計	-242	212	-454
%	-1.5%	1.3%	-2.8%

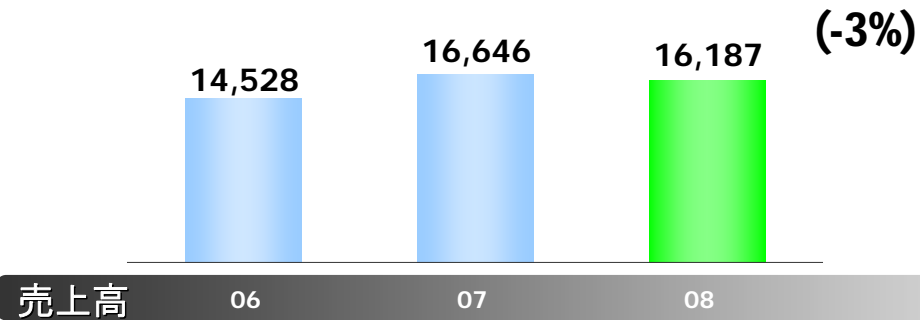
営業損益分析



単位: 億円
(対07年度)

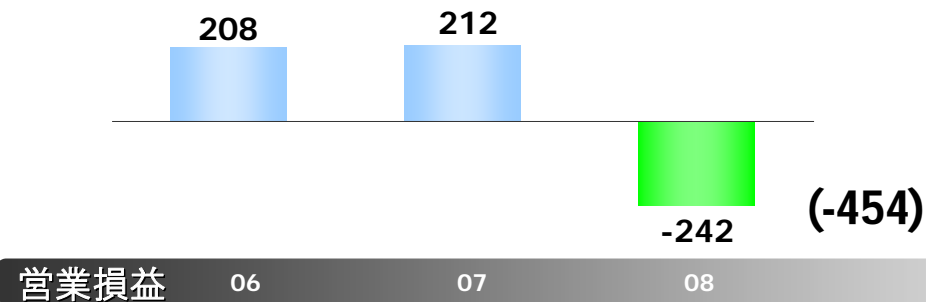
決算レビュー

単位：億円
(対07年度)



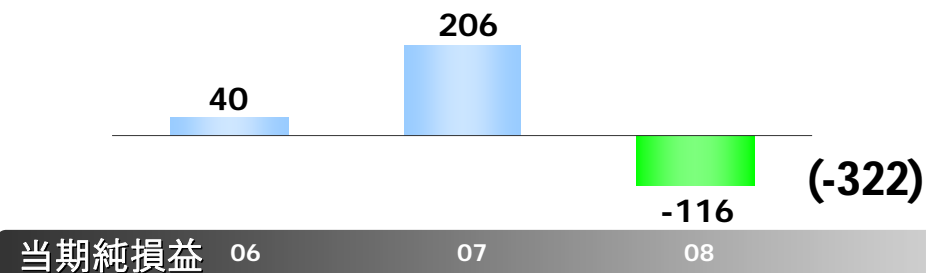
■売上高：減収

デジタルプロダクツ、電子デバイス、家庭電器、その他部門が減収



■営業損益：赤字

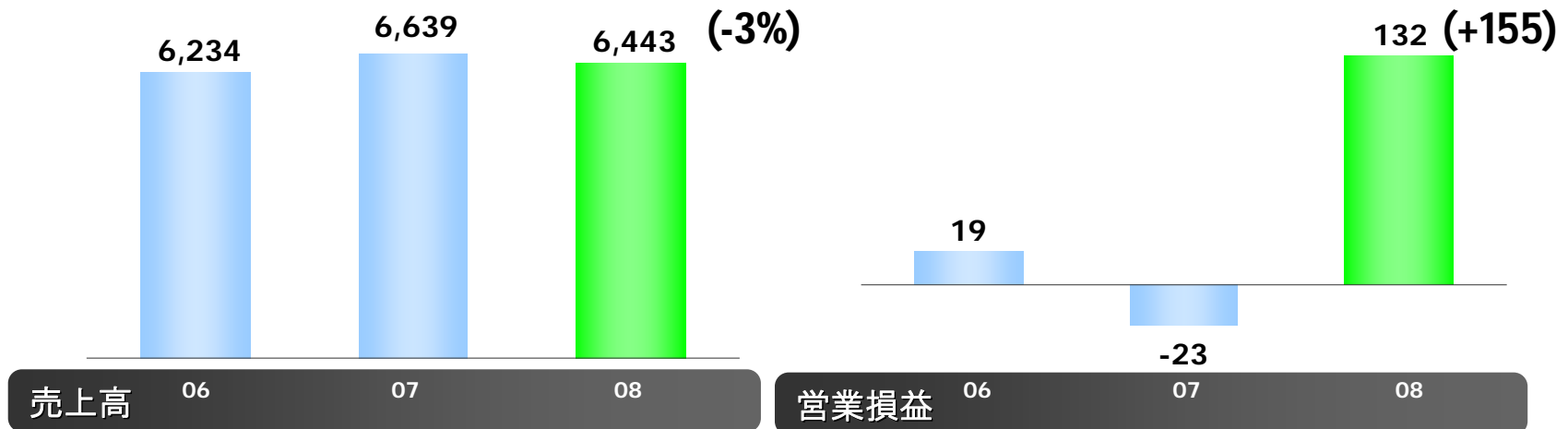
デジタルプロダクツ、社会インフラ部門は増益、電子デバイス、家庭電器部門は減益



■当期純損益：赤字

営業損益の減益により悪化

デジタルプロダクツ

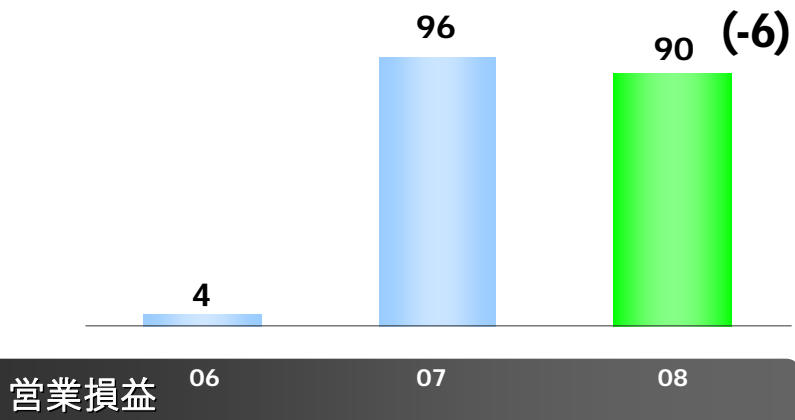
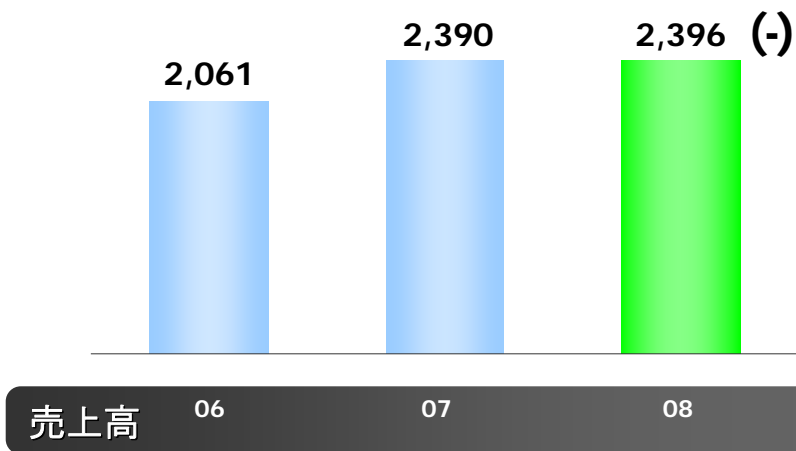


■ TVおよびHDDが好調だったが、流通・事務機器が前年同期に需要が集中した影響により減収

■ 携帯電話が悪化したが、TVの大幅改善とPCおよびHDDの好調により大幅な増益

単位：億円
(対07年度)

PC

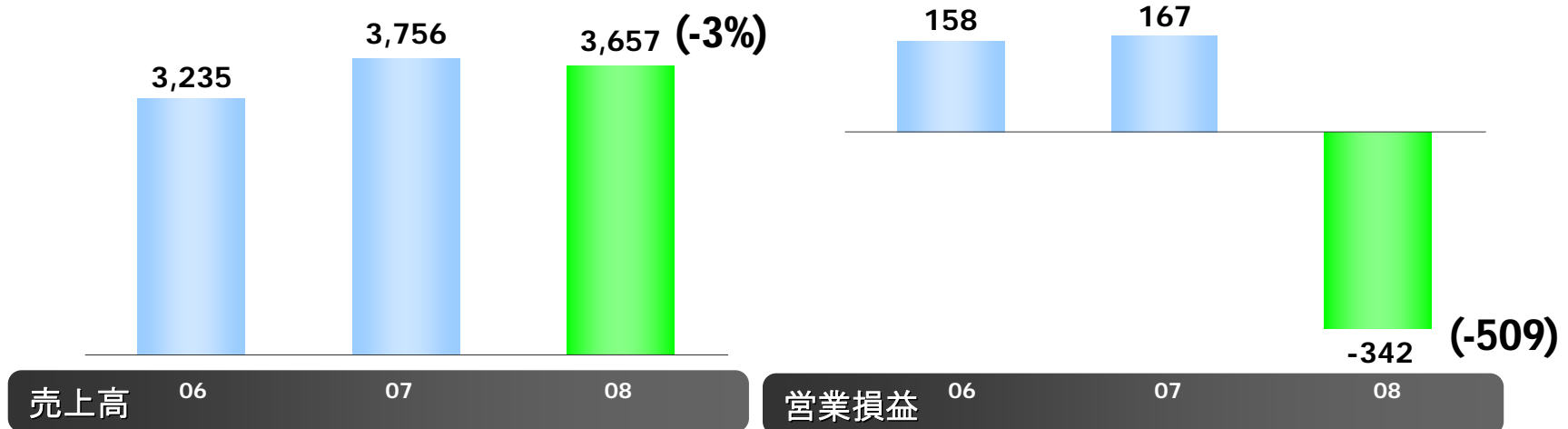


■ 欧州地域を中心に販売台数は伸張したが、売価ダウンおよび円高により横ばい

■ 価格下落の影響はあったが、販売台数は好調に推移し横ばい

単位: 億円
(対07年度)

電子デバイス

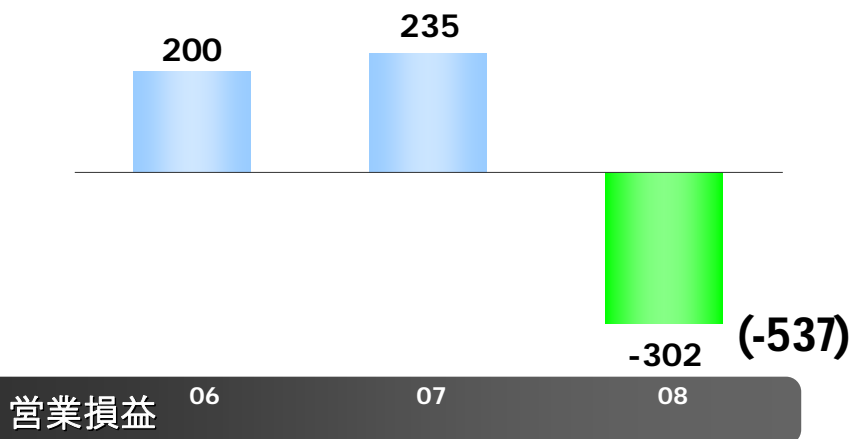
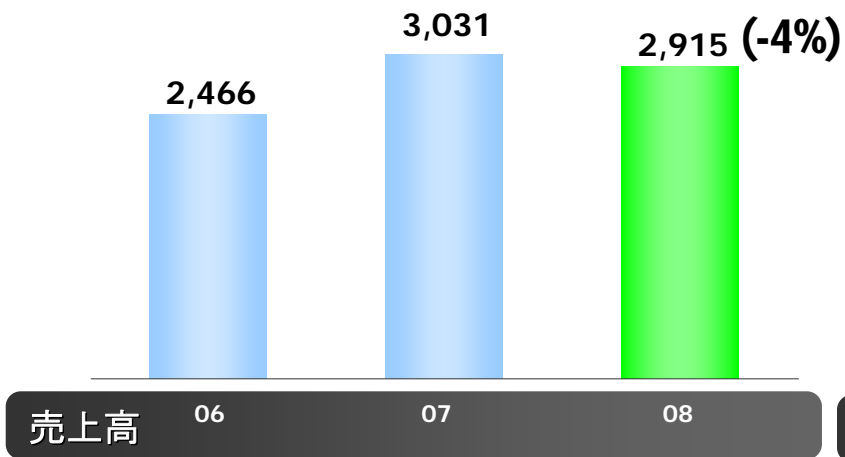


■ 液晶事業は増収となったものの、システムLSI、メモリを中心に半導体事業が低調で減収

■ システムLSI事業の不振およびNAND型フラッシュメモリの価格下落により大幅な悪化

単位：億円
(対07年度)

半導体

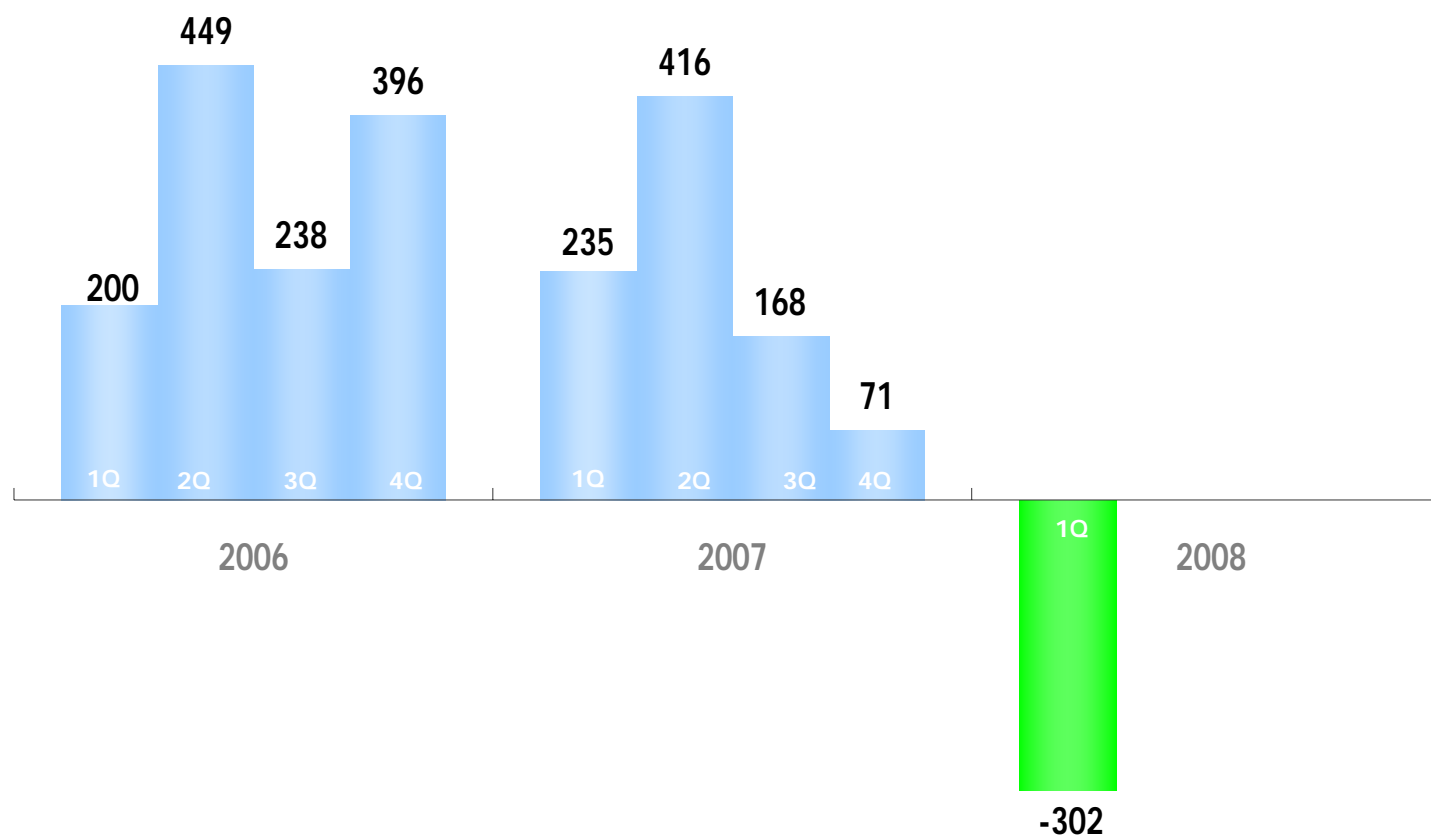


■ デジタル機器向けを中心としたシステムLSI事業の不振、NAND型フラッシュメモリの価格下落を物量増でカバーできず減収

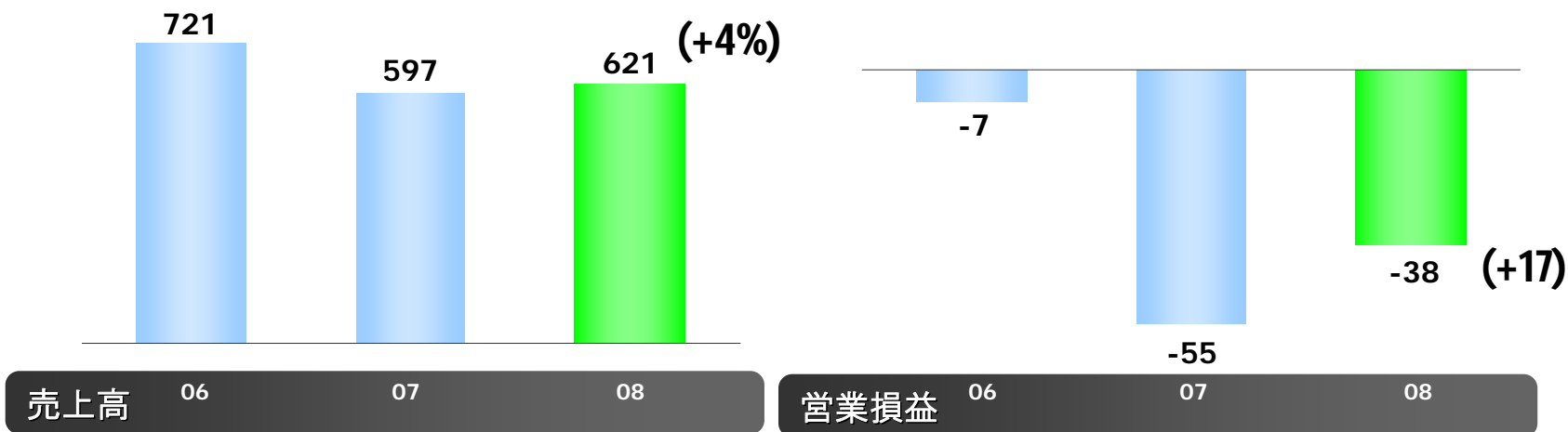
■ システムLSI事業の不振、NAND型フラッシュメモリの大幅な価格下落および円高の影響により大幅悪化

単位: 億円
(対07年度)

半導体四半期別営業損益トレンド



液晶

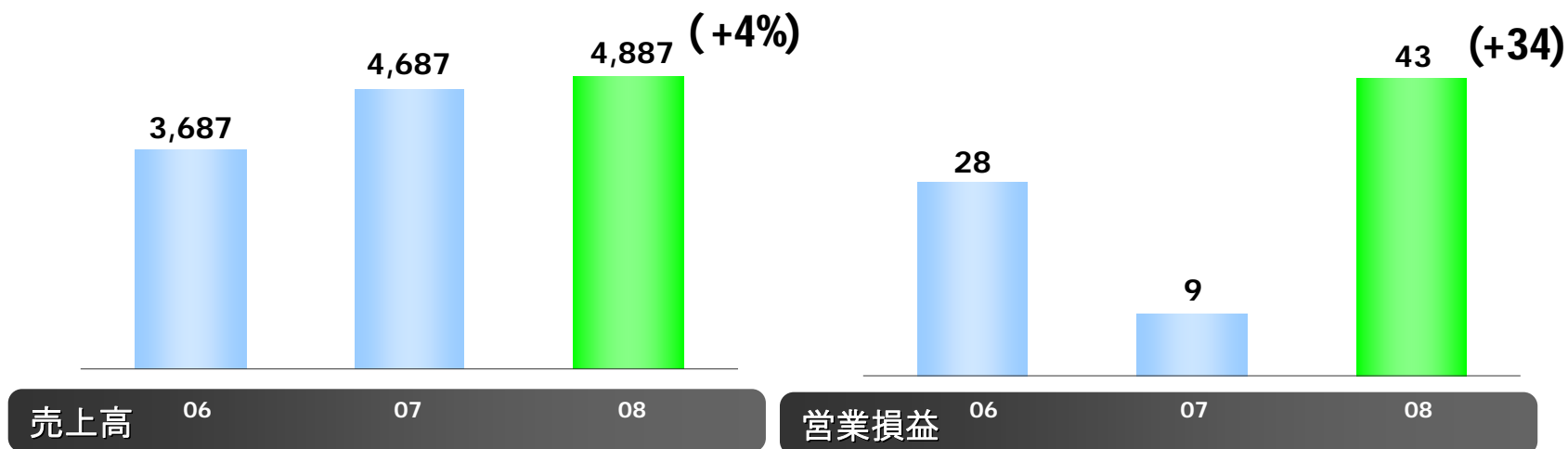


■ 海外を中心に携帯機器の需要が回復し、海外の車載機器向けが堅調で増収

■ 携帯機器向けを中心とした増収により改善

単位：億円
(対07年度)

社会インフラ



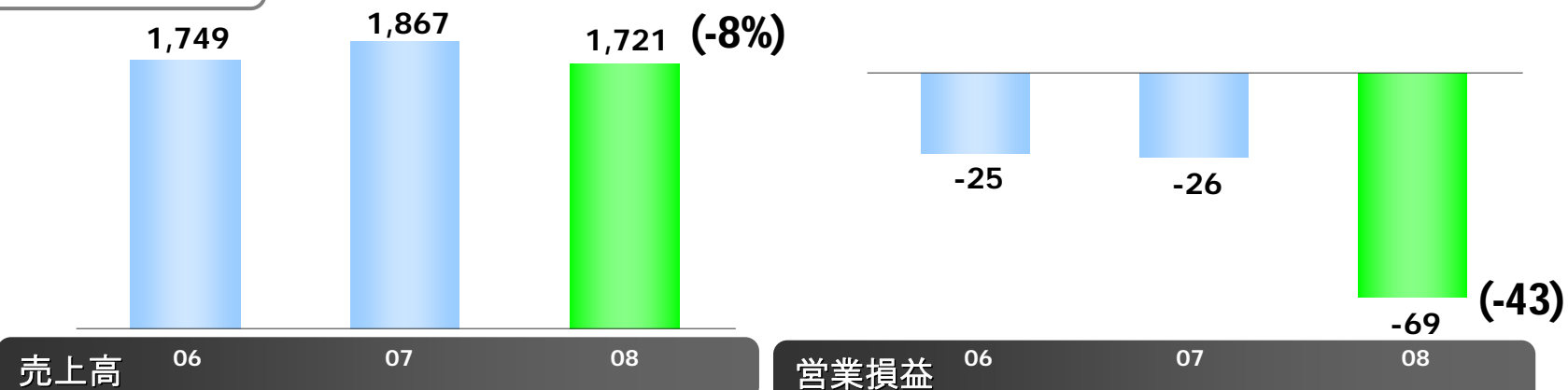
■ 発電システム事業、電力流通・産業システム事業が好調で増収

■ 発電システム事業、昇降機事業が好調で、ソリューション事業も改善し増益

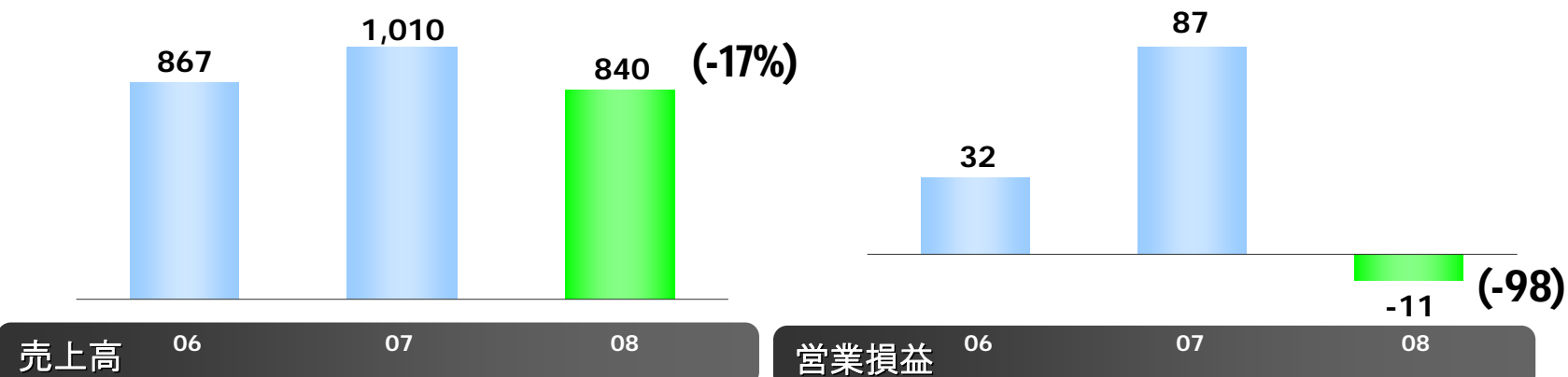
単位：億円
(対07年度)

家庭電器

単位: 億円
(対07年度)



その他

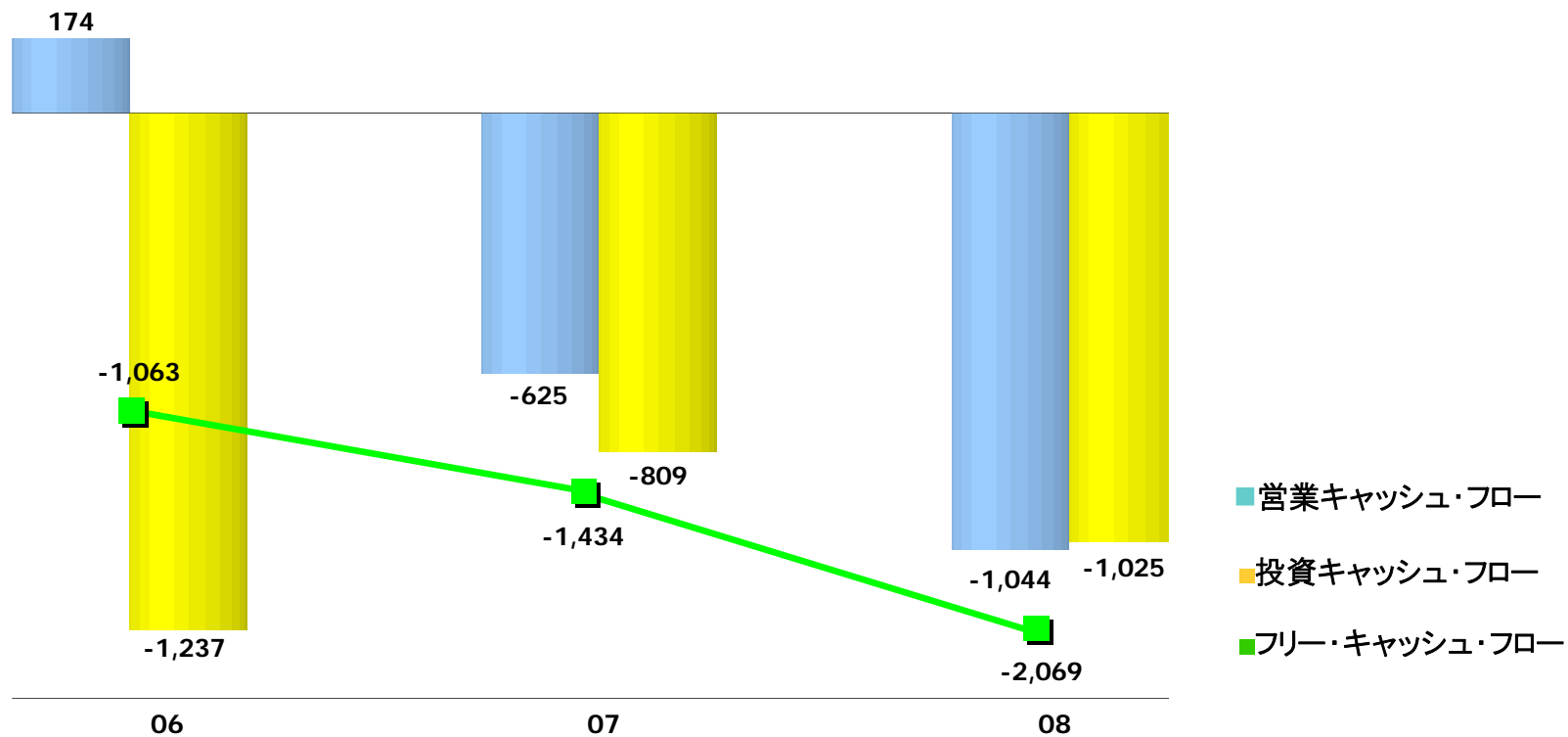


営業外損益

	08年度	07年度	差
			対07年度
有価証券売却損益	2	134	-132
固定資産売却損益	27	82	-55
持分法投資損益	57	42	15
為替決済差損益	83	-49	132
金融収支	-20	-32	12
その他	-71	-49	-22
営業外損益計	78	128	-50

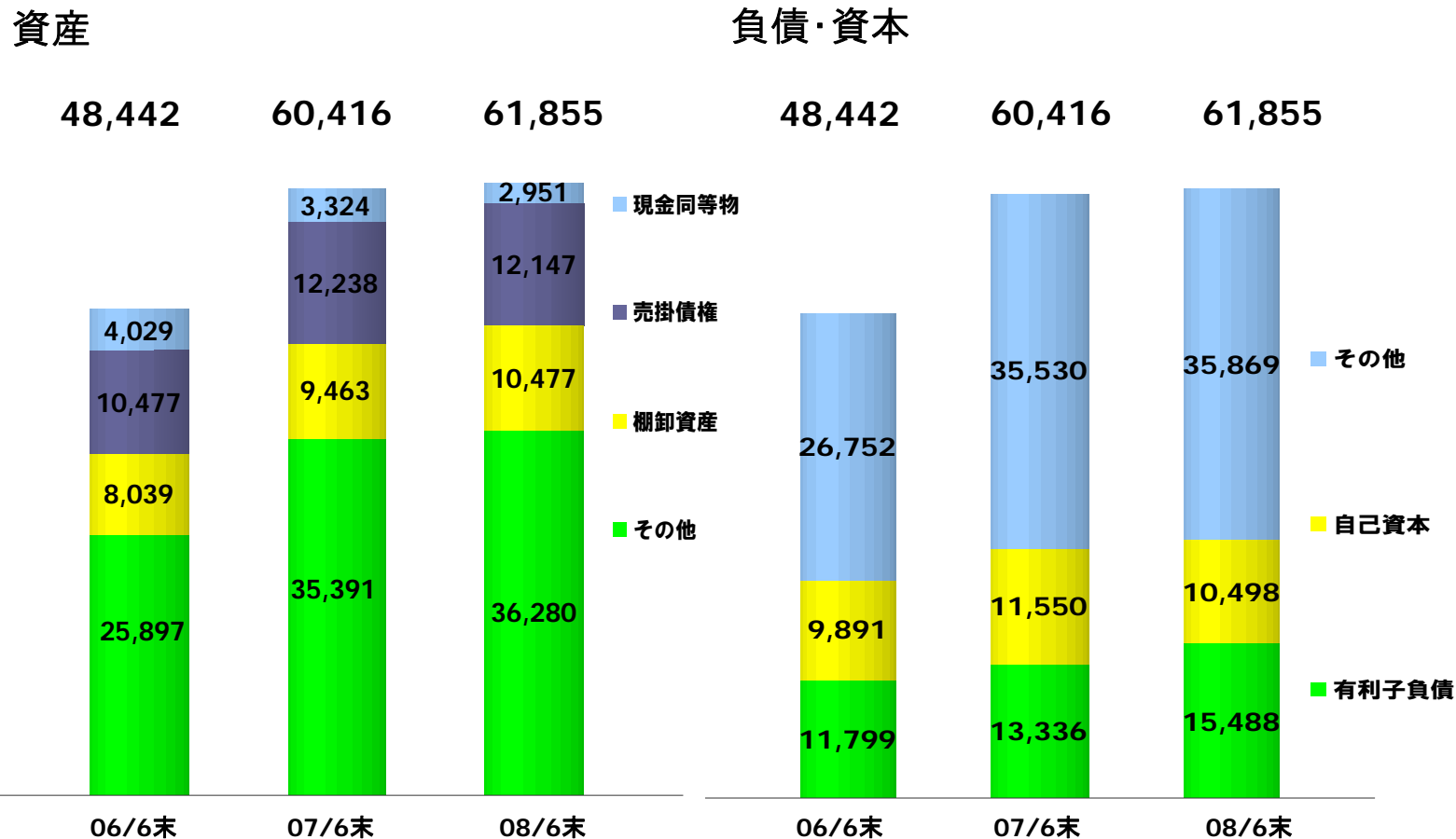
単位: 億円

キャッシュ・フロー



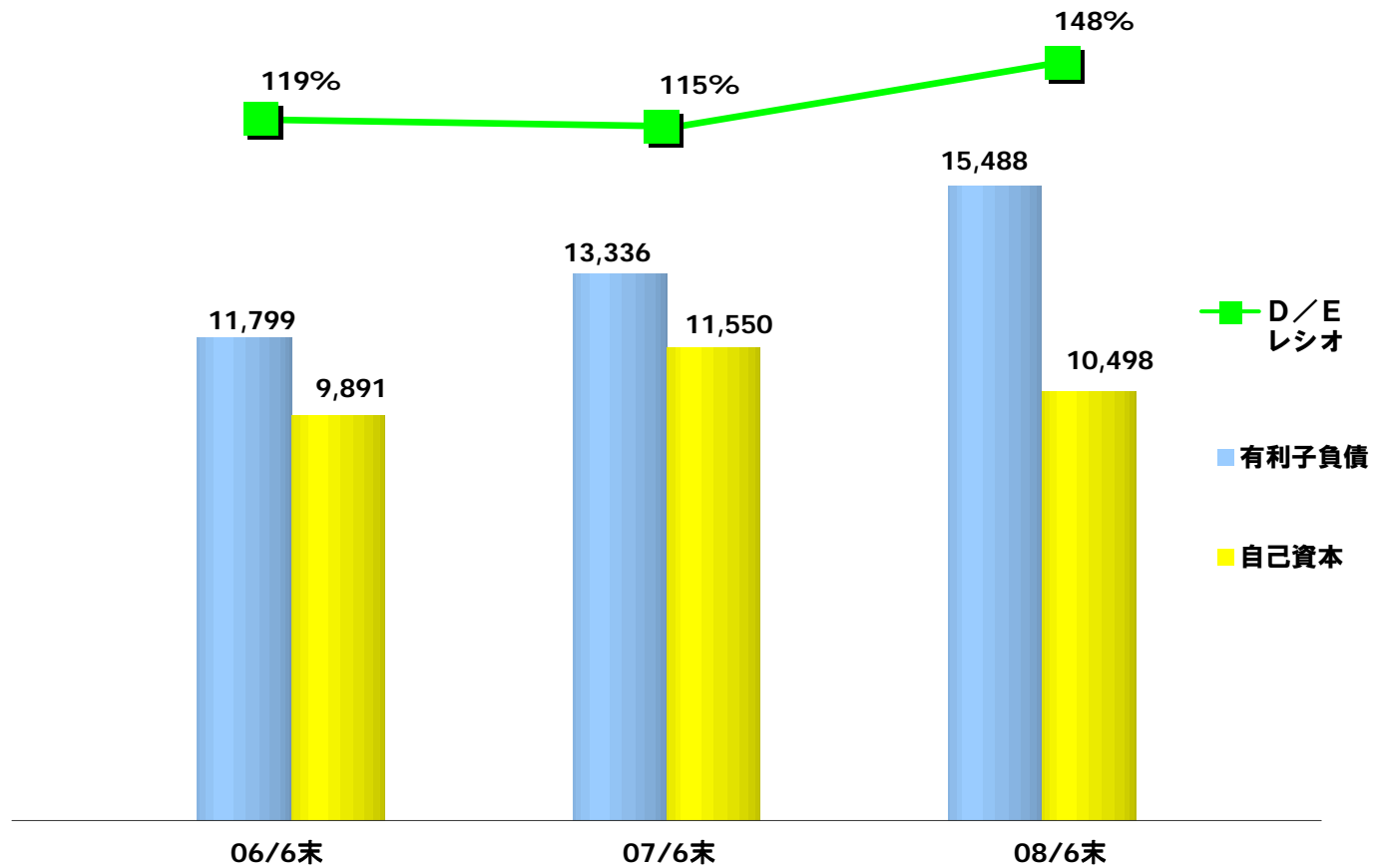
単位: 億円

貸借対照表



単位: 億円

DEレシオ



単位: 億円

TOSHIBA

Leading Innovation >>>